

## 参加要項

### 開催概要

- ① 本集会は、オンライン(ZOOM)と対面式の両方で開催します。
- ② ZOOM 利用のイメージと留意点
  - ・ ZOOM は、パソコンやタブレット等の画面上に会場や講師などが映しだされて遠隔地からでも集会に参加出来ます。
  - ・ オンライン参加の場合には、カメラとマイク付きのパソコンやタブレット等が必要です。なお、音が聞き取れない場合がありますので、周囲が静かな環境かイヤホンなどがあれば聞き取りやすいです。
  - ・ 使用場所や機器によって接続が不安定になることがあります。予め、視聴場所でインターネット環境をご確認下さい。
  - ・ 一つのパソコンで複数名が視聴する場合も、お一人ずつお申込みをお願いします。

### 申し込み (11月10日メ切)

下記の URL・QR コードから、お一人ずつ申し込みフォームに入ってください。

「参加申込」がアンケート形式になっています。

お答えいただければ、自動的に受付されます。

集会参加のための ZOOM 情報(URL・ミーティング ID・パスコード)は、後日(12月初旬)メールでお送りします。

集会要綱は、オンライン参加の方には申込住所宛に 11月末頃お送りします。

現地参加者には、当日会場受付にてお渡しします。

### 《申込フォーム》

<https://forms.gle/FhD9kCFFWEmg7DMW9>

(一般社団法人社会福祉経営全国会議ホームページからも申し込みます)



### 《参加費・懇親会費・弁当費用》

- ・ 参加費 お一人 11,000 円(一日だけの参加も同額です)
- ・ 12/7 夜懇親会 お一人 7,000 円
- ・ 12/8 昼弁当費用・お茶付き お一人 1,170 円

※懇親会(7,000 円)、弁当(1,170 円)をお申込みの方はその費用との合計額をお振込みください。

※参加費+懇親会+弁当=19,170 円、参加費+懇親会=18,000 円、参加費 + 弁当=12,170 円

### 《振込先》

① ゆうちょ振替口座 00970-4-335683

② ゆうちょ銀行 店名：四〇八(ヨンゼロハチ) 店番：408

預金種目：普通預金 口座番号：5030942

口座名義：「一般社団法人 社会福祉経営全国会議」

※全国交流会専用の振替・口座番号です。お間違のないようにお願いします。

※振替通信欄に「全国交流会」と「参加者名・法人(所属団体)名」を必ずご記入ください

※銀行振込の場合は、参加者名と法人(所属団体)名をご記入ください。

宿泊先は各自で手配をお願いします。  
お早めの予約をおすすめします。

【申込に関してのお問い合わせ】 一般社団法人 社会福祉経営全国会議 事務局

〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町 2-5-6-902

電話 / 06-6772-1360 Fax / 06-6772-1376 Eメール / jimukyoku1@f-zenkoku.net

【その他のお問い合わせ】 交流会関東事務局 電話 048-764-3881(みぬま福祉会 高橋)



# 第2回 全国福祉経営研究 交流会 In 関東(横浜)

たいへんなことがたくさんあるから

私たちは本来の役割について考える

## 人を大切にする福祉経営とは何か

— 未来をつくる社会福祉事業・法人の役割 —

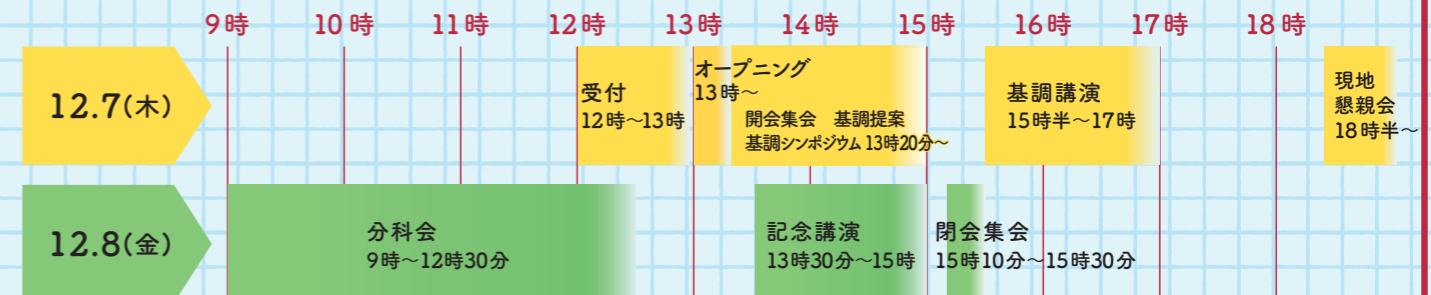
全国の社会福祉の経営と管理に携わっている皆さん! 毎日お仕事おつかれさまです。仕事はうまく進んでいますか。私たち社会福祉法人は、高齢者、障害のある方、子どもたちなど地域の人々の生活と暮らしを支え希望を紡ぐ事業を行っています。「人を大切にする」夢のある仕事です。しかし、人は足りず仕事は山のようにあり、ゆとりのない経営に追われているのが現実なのではないでしょうか。岸田内閣は「新しい資本主義」などと主張していますが、私たちの経営は楽にはなりません。私たちが地域で頑張りつづけ、人を大切にする福祉経営を実現するために、私たち自身の経営力管理力強化を避けて通ることはできません。同じ悩みを抱える全国の経営者、管理者と膝詰めで学びあいませんか。きっと、そこに新しい発見があるはず。勇気をもらえるはずです。

心を込めて集会準備を進めてきました。横浜でお目にかかれましてを楽しみにしております。

第2回全国福祉経営研究交流会実行委員長 垣内 国光

日時 2023年12/7(木)・8(金) 会場 ワークピア横浜(横浜市中区山下町24-1)

参加費 11,000円(おひとり) オンライン(zoom)と併用で開催



主催 社会福祉経営全国会議、第2回全国福祉経営研究交流会実行委員会

後援 きょうされん、全国民間保育園経営研究懇話会、21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会

オープニング

「ぞうれっしゃよはしれ」  
「遠い世界に」

あおぞら 谷津保育園

18日 13:00 ~



平和への思いを込めて、あおぞら谷津保育園 5歳児 さくら組が「ぞうれっしゃよはしれ」を歌います。2曲目 はあおぞらの法人役員・職員・保護者・地域で作っ

ている「あおぞら谷津保育園軽音サークル」の仲間 と、あおぞらの理事・地域のみんなで「遠い世界に」を生演奏で歌います。ぜひみなさんも一緒に!

開会集会

基調提案

自己責任を強調し、軍事に傾倒する社会の中で、福祉もまた厳しい環境の中にあります。基調提案では、実際に困っていることや問題を出し合い、その根本にある問題を学びながら、未来を切りひらく社会福祉事業本来の役割について考えてきました。二日間の集会で深めます。

基調シンポジウム

18日 13:20 ~

「人を大切にする民主的経営の実践」～高齢・障害・児童の3分野より発言～

- 高齢……………西岡 修氏 (社会福祉法人白十字会 白十字ホームホーム長)
- 障害……………黒川 久美氏 (社会福祉法人麦の芽福祉会 学びの共同センター統括常務理事)
- 児童……………松本 正良氏 (社会福祉法人静岡福祉会理事長)
- コーディネーター 石井 一由記氏 (社会福祉法人新瑞福祉会理事長)
- 浜岡 政好氏 (基調講演 講師)

利用者の権利を守り、職員の権利を守るためにはきれい事で済まされない現実があること。その現実と格闘している状況を含めて3分野から報告していただきます。それぞれの分野の課題や大切にしていることを知り、共通の福祉課題を考えます。

基調講演

「権利としての社会福祉を担う  
— 社会福祉法人は何に向き合っているか —」

浜岡政好氏 (佛教大学名誉教授)

18日 15:30 ~ 17:00

戦後憲法下で社会福祉法人はいかに誕生したか。また社会福祉を権利として国民生活に根づかせるために社会福祉法人はどのように運動と事業を切り開いてきたか。今日の介護保険型社会保障政策の下で、今、社会福祉法人は何に直面しているか。



1942年中国・旧「満州」生まれ。中央大学大学院社会学専攻博士課程退学。佛教大学教授を経て現在同名教授。専門は勤労者の労働・生活の実態調査をベースにした政策研究。大学退職後は総合社会福祉研究所、くらしと協同の研究所などで調査研究を継続。併せて社会福祉法人、生協等の役員に就き、非営利協同の事業にコミット。共編著『「健康で文化的な生活」をすべての人に—憲法 25 条の探求』(自治体研究社)、『公共性と市民』(学文社)など。



ちょっと横浜紹介!!  
会場は中華街と山下公園に至近。お昼休みにお弁当を食べられるくらいです。赤レンガ倉庫やみなとみらいの夜景も美しく、港を一望する大観覧車にも乗れます。恋人と乗りたかったですねー。

分科会

2日目 9:00 ~ 12:30

分科会名	内容
第1分科会 民主経営とは ～理念をどう伝えるか、 理念と実践・運動の繋がり～	法人の理念を日々の実践や運動に繋げながら、若い世代にどう伝えるか、また理念にそった将来ビジョンを職員全員で考えるとりくみについて、民主経営の柱の1つ「科学的、民主的なリーダーシップ」の視点から、議論を深めていきます。
第2分科会 5年後10年後につなぐ 福祉経営	よりよい実践をめざし笑顔あふれる職場作りを進めたい。厳しい現実を乗り越え法人設立の理念と権利としての福祉事業を未来へ継ぎ、命輝く職場をめざした福祉経営のあり方を、種別を超えて共に探っていきましょう。
第3分科会 管理職のやりがいと役割	管理職のみなさん、怒涛のような日々を過ごしているのではないのでしょうか? ちょっと立ち止まって、仕事のやりがいや喜び、悩みを出し合い明日からのエネルギーにしていきたいませんか。皆さんの参加をお待ちしています。
第4分科会 すべての人を大切にする 福祉実践	子どもも障がい者も高齢者も、保護者、家族、周りにいる人、職員、そのすべての人は健康で文化的に生きる権利があります。その地域で一緒に安心して生活をしてお互いに理解し合い、尊厳と人権を守る「すべての人を大切にする」取り組みを「しあわせの第4分科会」で交流します。
第5分科会 担い手不足はなぜ起こる ～その原因と対策、職員育成から 未来への展望を考える～	ニーズは増加する一方、担い手不足に伴い、事業の存続を危うくするほど深刻な状態にある福祉分野。人材の派遣や紹介に頼らざるを得ない状況の中で、社会福祉における働きの魅力を発信しながら、未来への展望を深めましょう。
第6分科会 福祉運動と制度要求 ～分野と立場を超えて～	国民の福祉要求の実現をめざす社会福祉法人の役割について、各地域で取り組まれている福祉制度の改善運動などから、福祉分野や事業者・利用者などの立場を超えて学び交流します。

記念講演

軍事力によらない安全保障政策  
～いのちと暮らしと民主主義をまもる

中野晃一氏 (上智大学教授)

2日目 13:30 ~ 15:00

日本は戦後憲法の下、「平和国家」として生まれ変わりました。その道は決して平坦なものではありませんが、今もなお私たちの安全保障政策は、すべての人々のいのちと暮らしを守ることに立脚すべきだと考えます。



1970年生まれ  
プリンストン大学博士 上智大学教授 政治学専攻 安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合、立憲デモクラシーの会などの呼びかけ人。主著『野党が政権に就くとき—地方分権と民主主義』(人文書院)、『私物化される国家—支配と服従の日本政治』(角川新書)、『右傾化する日本政治』(岩波新書)など。